

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 社会福祉法人ふたば福祉会

(ユニット名) せんだんの家

記入者(管理者)
氏名 清水 貞子

評価完了日 平成19年 9月 28日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・自分が認知症になったらどうして欲しいか、という視点で職員全員で話し合っていました。</p>	<p>・今後も介護上で悩んだりしている時等、お互いに原点に立ち返る事を助言として常に頭のどこかで意識したい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・日常的に言葉に出して言い合っています。</p>	<p>・理念の実践と職員一人一人の質の向上に努めたい。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・ホームの玄関やフロア内に掲示しています。 ・広報に掲載：地域の関係機関や協力機関等に配布している。 ・見学者やボランティアの方々にも説明している。</p>	<p>・今後も1/2M広報を配布し、地域へのPRに努めたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・ホーム周辺は病院と社員寮の為、社協のヘルスケアふたばに散歩、お茶などを頂き、職員や知人から声をかけて頂いている。</p>	<p>・年々歩行力が低下しているが、近くであり利用者が多い所なので車椅子での散歩に切り替えて出かけている。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・町の敬老会やダルマ市、産業際の展示等を見学し、住民から温かい言葉をかけて頂いている。 ・児童館での子供達との交流をしていたが、感染症の発生以来休んでおり、今は実施していない（利用者さんが行くと、お孫さんが逃げ回り寄って来ない）。</p>	<p>・ふれあい産直での野菜の買物、交流 ・お休み処での地域の方との交流は続けた い。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を抱えているご家族の方へホームへの訪問を勧めている。 ・高校での講義（来年からは介護福祉士となり、今年で終わりだが）で認知症高齢者への関わりなどについても話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は教師の実習〔1名）、高校生の体験学習などが予定されている。 ・町教育委員会担当者の協力を得て、地元高校のボランティアを依頼し、了解を得ていたが中々実現に至っていない。広報だけは届けています。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の評価結果を基に職員が一丸となって改善に取り組んできました。改善に対する認識もありケアの向上にもなりました。しかし、時間の経過と共に次第に薄れたようにも思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化の防止を図りたい。
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月毎に開催、ホームに関する一切を報告、当初と異なり、いろんな意見や助言が聞かれるようになり、ホームに対する理解も増したと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的に開催、ホーム運営上の助言や指導を頂き安心して利用できる地域のGHとしてPRしてもらえようになりたい。
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月次利用報告書、広報、入退居報告書の提出。 ・不明な点は担当者の助言を求めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も指導と助言を求めています。
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GH内での学習会を行っていますが、ケースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースがあれば関係機関と相談をして勧めたい。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GH内での学習会を行う。当初から「禁止」の方針でいます。 ・利用者さんを心身共に傷つけないように職員一人一人が自覚しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも方針を守る。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用に当たっては必ず、当ホームを見学して頂いてから話を進めています。 ・今までトラブルはありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同姿勢で対応します。 ・職員全員が出来るようにしていきたい。契約書や重要事項の内容を職員全員が理解するようにしたい。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に利用者さんの傍に職員がおり、利用者さんの訴えに耳を傾けて、出来るだけ意見を尊重し希望の実現に向けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者さんの意見や希望を大切にしたい。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時や必要な時は電話で報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も面会や電話を利用して報告、ご家族が安心して任せられるホームを目指したい。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム玄関内に「意見箱」を設置しています。 ・苦情に関しては掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会にも、意見や苦情など報告しており、今後も同様な姿勢でより良い開かれたホーム作りをしたい。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のミーティングや随時話し合いや相談をしている。 ・施設長も都合のつく限りホームに見える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も今までの様に施設長や職員と相談、話し合いをして良いケアの環境づくりに向け努力したい。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の協力が大きく、スムーズに対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者・ご家族の状況を第一に職員の協力の下で柔軟に対応していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・現場の意見を尊重して頂き、勤務異動は最小限にして頂いている。</p>	<p>・利用者に無用な動揺や不安を与えたくない為、今後も理解と協力を求めています。</p> <p>・運営者が安心して任せられる職員として、自分自身の質の向上に努めたい。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・希望する研修会へは殆ど参加させている。</p> <p>・法人内の各種研修会も開催している。</p>	<p>・今後も院内外への研修会へは積極的に参加させたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・地域別の各交流研修会への参加を積極的に奨励し、機会を大事にしています。</p>	<p>・今後も同様に参加を奨励し、自己学習の場を提供したい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・GHはある程度、管理者の自由裁量に任せており、職員は伸び伸びとまとまりのある職場になっている。</p> <p>・休憩時間での休息、お茶を飲みながらの談話、業務改善などの話に耳を傾けています。</p>	<p>・今後も同様に管理者・職員が楽しく仕事が出来、利用者が安心して暮らせる職場環境作りに努めたい。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・研修会への取り組みは管理者に任せているが、個々にあった研修会、勉強会の参加の促しや、個々に合った役割、業務分担をしています。</p>	<p>・職員が生きがいと希望を持って働ける職場にしたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・「私がこうして欲しい、と思っていると誰かが必ずやってきてそのようにしてくれるの、全くありがたい事ね。」と涙ぐまれての言葉が聞かれています。</p>	<p>・理念を念頭に、心の通ったケアに努めたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・本人の状況を見て、必要時にご家族の許可を得て自宅への外出、妻との時間を過ごして頂いているケースもある。(冬季は寒い為妻の身体具合もあり休む) ・ご家族と電話で話して頂いたり、面会に来て頂いたりしています。		・今後も可能な限り続けたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・ご家族にホームへ宿泊をして頂き、本人との時間を大切にしている。 ・本人・家族内の背景の把握に努め、職員間で共有している。		・今後も普段の本人の生活状態を見て頂き、本人とのゆったりした時間を過ごして頂く。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・定期的に馴染みの理美容へかかっている。 ・散歩や買物などの帰りにヘルスケアやお休み処に立ち寄りお茶飲みをしている。		・本人が可能な限り、馴染みの店を利用し、友人・知人がいつも身近に居ることで安心感を持って頂く。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・個々の利用者の関係を把握し、常に職員は間に入り、話の聞き役としてケアに努めている。		・今後も同様に利用者間の間に入り、お互いが仲良く和気あいあいと過ごせるようにしたい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・転居したケース(ご家族の都合)があり、その後どうしているか気になりご家族の許可を得て、面会に行きました。(転居した先でも落ち着かないことから、玄関での面会で終わりました。)		・ケースバイケースで家族・施設の意見を聞いて対処したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・ 普段の会話からホームでの生活に対する本人の希望や意向の把握に努め、できない事はサポートするが、出来る事は一緒に行くなどしている。</p> <p>・ 把握が困難な方は、常の生活状態や行動から判断、サポートしている。</p>	<p>・ 今後も同様に本人の意思を尊重したい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・ 入居時の実態調査票や本人・家族・友人・知人・関係機関などの情報から本人を取り巻くマップを作成している。</p>	<p>・ マップを活用していつまでも地域との関係が続くようにしたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・ 職員間の個々の観察・気付き・情報の共有により把握し、過剰な援助をしないよう、本人の残存能力を大切にする。</p>	<p>・ 今後も年と共に変化する生活状況を良く見極め、適切な援助をしていきたい。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・ 毎月、担当者会議を開催。プラン変更の場合は、本人や家族の意見や意向を聞き、職員全員で検討、介護計画を作成している。</p>	<p>・ 本人・家族は勿論ですが、職員間での話し合いでより多くの意見が聞かれ、新しい発見などもあり、今後も同様な形で計画作成をする。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・ 本人の心身の病状や状況によって見直しを行っています。</p>	<p>・ 今後も利用者の心身の状態によっては、職員全員で検討、見直しをしていく。。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ごとにケース記録があり、申し送りに活用、ケアの継続を図っている。 ・プラン変更もしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個別にケース記録をし、申し送りに活用し情報の共有化とケアの充実を図ってゆきたい。 ・必要時はプラン変更もこれまでのようにしたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p>			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事で家族参加のない利用者さんをボランティアの方が優しくサポートされる。 ・一人だが、受診時は町タクシーの協力を得て遠方の病院を受診している。 ・7/27消防署の協力で火災非難訓練を予定。 ・火災通報訓練を定期的にしていない。 		<p>緊急通報訓練を定期的に行い、いざと言う時にきちんと対応できるようにしたい。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1名の方が町事業の「筋トレ」へ参加。担当者とは常に連絡をとっています。又、送迎は職員が行っています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意向を尊重し、家族・職員とも相談をして始めましたが、今後も担当者の協力を得ながら継続させたい。
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年になってから包括支援センターが中心となって意見の交換会や困難事例などについて話し合う機会を設けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの入居状況なども報告、広報の配布をしている。 ・運営推進委員会のメンバーです。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・本人・家族の希望する主治医による診察は1/M。 ・最近、主治医が長期休診の為、主治医変更を本人、家族と相談して頂いたケースがありました。</p>		<p>・今後も本人やご家族の意見を尊重していきたい。</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・専門医の受診を勧めているケースがあり、家族も了承され、家族の都合の良い日に受診予定しています。</p>		<p>・今後も必要と思うケースがあれば受診を勧めたい。</p>
45				
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・入退院時についてはお互いにサマリーの交換をしている。 ・早期退院に向けて主治医や病棟とは連携を取り合っています。</p>		<p>・今後も本人の意向を大切に同様に対応したい。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・本人、家族、主治医・職員間で何度も話し合う。又本人、家族の意思を何度も確認、職員間での話し合いを繰り返し、受け入れる事にしました。 ・特に夜間は一人勤務の為、職員の不安を家族に話しそれでも、と強い希望があり職員も受ける事にした、という経緯があります。</p>		<p>・今回の経験を基に、今後も本人・家族の意向を大切に、主治医と相談しながらホームでの見取りをしていきたいと職員一同考えています。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・初めての「見取り」を経験し、介護現場は日常生活のお世話をする所であり、医療現場ではない事を良く理解して頂き、それでもホームで、と希望される本人、家族の思いを大切に褥創などをつくらないう様に、最後まで皆の中で暮らして頂き、主治医の協力もあって対応できました。家族からは大変感謝され、地域からも「良かったね」という言葉がありました。 ・見取り加算は取っていない。</p>		<p>・数名の職員が「見取り」の研修を受けたり、ミーティングで研修会の資料を基に「見取り」の勉強会をしました。 ・今後も「見取りについて」症例を通し、体験しながら本人・家族が安心して満足していくような対応をしたい。(主治医の協力の下に)</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・他GHへの転居がご家族の都合でありましたが、本人を連れて見学に行ったり、利用者に関わる情報の全てを口頭やサマリーにまとめて報告、家族の関わり等についても報告しました。</p>		<p>・今後も転居者が居る時は同様に対応したい。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・職員一人ひとりが言葉使いに注意し、優しく対応するように心がけているが、時に会話を聞いてお互いに助言や注意しあう事もあります。</p>		<p>・普段の職員の言葉かけにお互い耳を傾け、注意しあったり助言するなどして、今後も利用者さん一人ひとりの生活を大切に、寄り添い、その人らしい生活が送れるように支援したい。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・利用者さんの言葉に耳を傾け、無理強いはいしていない。本人の思いを尊重し、時には一緒に考えたりしながらサポートしている。</p>		<p>・関わる職員の日々の心の余裕が大切と考え、家庭や個人の問題を職場に持ち込まないように注意したり、個人の意思を聞いて対応していきたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・主だった予定はあるが、利用者さんの意向を優先しており、職員だけで対応する事もあり、自分の好きなように過ごして頂いている。</p>		<p>・今後も同様に対応していきたい。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>・馴染みの理美容に連れて行ってます。 ・身だしなみにも職員の助言で季節にあった物を選んでもらったり、全体のバランスを考慮するなど支援している。</p>		<p>・個々によって大分差があり、今後も本人の意思を尊重し、大切にしたい。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の嗜好品を把握、嫌いなものは代替で対処している。 ・下ごしらえ、調理、盛り付け、片づけ等一緒にやって頂いている。 ・配膳は「危ないから」と利用者さんから断られている為職員が対応している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの様に出来る事は協力を得て一緒にやっていきたい。
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時々、夕食時に晩酌をして頂いている。 ・板チョコが好きな方には、毎日少しずつ手渡している。 ・喫煙は、本人の希望で今は中止しています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・心身の日常生活に支障のない限り続けたい。
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック、時間や仕草で誘導して、リハパンツを中止し、パンツに変えている。 ・尿取りパットもケースによっては外しました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も出来るだけ前向きに対応していきたい。
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は3/wとなっているが、拒否される方、希望する方がおり、随時対応しています。 ・手の届く範囲は自分で、他は介助しています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・希望で夜間浴も実施していますが、今後も本人の希望を大切にしたい。
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房や電気毛布などを使用しています。 ・一人で眠れないと、2人でベッドを並べて休んでいる利用者さんもいます。 ・職員が添い寝をしてベッドで昼寝を促しています。(添い寝をすると良く休まれる為) 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者さんの希望に沿った安眠が得られるように対応していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戸締り、カーテンの開閉、ゴミの召集、調理、畑の管理など一緒に声をかけて行っています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・段々できる事が少なくなってきており、現状維持できれば良い、と考えている。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員ではないが小遣い程度持っている方もいる。 ・買物や移動販売がホームに来た時は欲しい物を職員の見守りや助言で購入して頂いている。 ・現金を用い、買物遊びをする事もあります。 		・同様に対応していきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や外出(買物、ドライブ)をしています。 ・天気の良い日は散歩や日光浴、優れない日は併設の特養への散歩をしている。(たまにお茶菓子持参で行く) 		・利用者さんが「行きたい」と希望される限りは今後も行きたい所へ外出させたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・1/M行事を開催:花見、外食、白鳥見学、他外出しています。 ・花見には家族の参加もありました。 ・地域の祭りへの外出もしています。 		・今後も毎月行事を企画、行事によっては家族参加を促していきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀やハガキの支援、希望のある方やハガキが書けない方は電話での支援をしています。 ・写真などの送付(遠方の家族が希望された時)もしています。 		・家族とのつながりを常に大切に、又、家族の一員である事を自覚して頂く為にも、これまでのように援助したい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に来て頂き、過ごす場所は本人にお任せしています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけリラックスして過ごして頂けるように、夏はソファと椅子、冬は畳にコタツを用意している。 ・どうしたらくつろぎやすいか念頭にありあれこれ検討しています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・「身体拘束」について学習会をしました。 ・ホームとしては拘束禁止の方向で職員に徹底している。 		・今後も「身体拘束」はしない方針でいく。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・自分の家を振り返り「施錠」がしてあるかどうか。日中は開放しています。</p>		<p>・今後も夜間以外は施錠はしない。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>・常に見守りし所在確認、誘導や声かけをし、職員間でも協力しています。</p> <p>・夜間は一人勤務の為にトイレ介助の重複する時がある為離床センサーを設置、臨機応変に対応している。</p>		<p>・今後も利用者さんの安心・安全のために見守り、誘導や介助に心がけたい。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>・ライター、包丁は職員の目の届く場所に保管し、洗剤や消毒薬、その他に関しては利用者さんの手や目に触れないところに保管しています。</p>		<p>・安心、安全に心がけたい。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>・個々のリスクマネジメントを作成、状態変化に応じて見直しをしている。職員間で共有している。</p>		<p>・個々の状態変化に応じて見直しを図っていく。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>・看護師の指導で学習会を開いている。</p> <p>・職員全員が普通救命を受講している。</p> <p>・その都度、看護師に報告、対応への指導を受けている。</p>		<p>・普段からの対応処置で経験を積んで頂き、職員の自信になるようにしたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・研修会の後、災害時のホームの避難経路について職員間で話し合った事がある。</p> <p>・7/27特養との合同避難訓練が予定されています。</p>		<p>・ホーム独自でも緊急通報訓練を定期的実施し、避難訓練なども検討したい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何度も説明し、家族の理解は得られていると思います。家族との話は職員にも伝え、話し合っており、見守りや誘導しながら自由に過ごして頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんの状態変化と共にハイリスク状態になる為、今後もその都度ご家族へ説明して理解して頂くように努めたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝バイタルチェック、全身観察をしている。 ・ケース記録や申し送りノートに記録、口頭での申し送り等で情報共有。管理者不在時はリーダーの指示で対応：目を通した者はサインをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も申し送り、報告の徹底で早期対応に心がけたい。 ・学習会や研修会への参加で観察、気付きの大切さを理解していく。
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院からの「薬剤情報提供書」を利用している。 ・変更があればケース記録や申し送りノートを使用し、注意点や観察事項などを申し送る：各自サイン。 ・「薬剤情報」ファイルをホーム専用で作成して頂いた。(友人の薬剤師作成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診介助が職員誰もが出来るように、前回申し送り内容をきちんと把握し、受診時に報告が出来るように対応したい。
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人別排泄表のチェックをしている。 ・繊維の食物や水分摂取を促している。 ・体操、散歩をほぼ毎日行うようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日为目标に体操や風船バレーをやり、出来るだけ体を動かすようにしています。
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る方には声かけ、出来ない方は見守りや介助、夜間は義歯をポリドントに浸漬しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間は出来ているので、日中も忘れないようにチェック表の活用をしてみたい。
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人別食事・水分摂取量のチェック表を用いて把握している。 ・幾ら義歯を作っても合わない、と利用されない方には、カロリーメイトや野菜ジュース等を準備し補食している。 ・嗜好表を作成して参考にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様に食事や水分が十分取れているかどうかチェックしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・マニュアルはあるが、事例を基に学習会を行い、手洗い、消毒など実践しました。 ・インフルエンザ予防接種は、本人・家族の同意を得て全員が実施しました。		・何の感染症かによって対処は異なるので、普段よりマニュアル参照、消毒や手洗いの徹底をしていく。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・手洗い、調理器具の洗浄・消毒をしている。 ・必要に応じて温野菜にして使用している。		・同様に実施していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・フェンスの入口を常に開放、花を植えたり玄関前には亡き利用者さんが造ったオブジエに、他利用者さんが選んでくれた造花を飾り少しでも暖かい雰囲気づくりをしている。季節の花を飾るようにしている。		・特養併設でベランダ続きでホームなっている為、どうしても施設にしか見えないが努力は続けたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・建物の内外やベッドと、家庭的とは言い難く施設を思わせる為、昨年の外部評価での助言もあり、少しでも家庭的にと工夫を凝らしてきましたが、十分ではない。 ・他GHの見学もして参考にしました。		・今後も全員の協力で出来るだけ家庭的な居心地のよい共用の空間づくりに心がける。 ・機会があれば他GHの見学などもしたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファを置いたり、椅子を置いて自由に過ごせるようにしている。		・夏は床、冬は畳にコタツと季節ごとに変える。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている		利用者さんの希望があればいつでも対応してやり たい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている		・これからも同様に対応する。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している		・今後も安全に生活ができるように目配り、気配 りをしてゆく。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している		・常に利用者さんを視野に、貼紙をしても混 乱の見られる時があり、声かけ誘導していく。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている		・今後も同様にやりたい。 畑は、殆ど職員が やっている為出来る範囲内でやるが、収穫の喜び は分かち合いたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> ほとんど掴んでいない	その他 ()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/> 毎日ある <input type="checkbox"/> 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> たまにある <input type="checkbox"/> ほとんどない	その他 ()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他 ()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他 ()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他 ()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他 ()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他 ()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> ほとんどできていない	その他 ()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 数日に1回程度 <input type="checkbox"/> たまに <input type="checkbox"/> ほとんどない	その他 ()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている ○ 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他()
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者さんが日々穏やかに安心して過ごして頂けたらと考えています。